食品・飼料・環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

RIDA スクリーン黄色ブドウ球菌エンテロトキシン・トータル

ELISA 法による黄色ブドウ球菌エンテロトキシン毒素 総量スクリーニング検査

ELISA 法により、様々な食品・牛乳や培養液における黄色ブドウ球菌エンテロトキシン A,B,C,D,E の総量を検出、同定します。各毒素トータルに対する特異抗体をウェルにコーティング、毒素総量の検出を２時間４５分で行うことが可能です。感度も約 0.25ng/mL(ppb)と高く、目視判定も可能です。
本キットで陽性と判定された場合は、RIDA スクリーン黄色ブドウ球菌エンテロトキシン SET A,B,C,D,E【商品コード：4412P】でエンテロトキシン毒素の同定ができます。

品名 **コードNo.** **仕様・価格** **キット内容**	**RIDA スクリーン 黄色ブドウ球菌エンテロトキシン・トータルキット（製造：r-Biopharm 社）** **（R4105）** **96ウェル　100,000 円** **マイクロタイタープレート：8ウェルストリップ×12本、陽性コントロール、陰性コントロール、複合体液①、複合体液②、発色基質液、反応停止液、洗浄原液：各1本**
目的・用途	食品・牛乳・菌培養液等における黄色ブドウ球菌毒素（SET A,B,C,D,E）総量のスクリーニング定性検査
原理と検出限界	ELISA 法 約 0.25ng/mL(ppb)（但し検体や前処理によります。）
所要時間 **保存条件**	２時間45分（試料調製時間含まず） ４～8℃、露光厳禁
前処理	牛乳：　冷却した牛乳を 3,500G で 10 分間（原乳の場合 10℃）遠心分離で脱脂後、室温に戻し、上清 100μＬをとる 食品：　試料 1g あたりPBS(pH7.4) 1.5mL を加えホモジナイズ、15 分間振とう、3,500G、10 分間 10℃遠心分離で脱脂後、上清 100μＬをとる 油脂を 40%以上含む食品：　試料 1g あたりPBS(pH7.4) 1.5mL を加えホモジナイズ、3,500G、10 分間 10℃遠心分離、上清に同量のn-ヘプタンを加え5分間激しく振とう、3,500G、5 分間 10℃遠心分離、ヘプタン層を多めに取り除き、水層をキットに使用 培養液：3,500G で5分間 10℃遠心分離、（ろ過滅菌をお薦め）、上清 100μＬをとる
操作	1)各ウェルに試料、陽性･陰性コントロール液をそれぞれ 100μＬ カバーフィルムでウェルを覆い、35～37℃で 60 分インキュベート 2)ウェル内の液を廃棄後、希釈洗浄液 300μＬで洗浄（5回） 3)複合体液①100μＬを加えて振とう、35～37℃で 60 分インキュベート 4)ウェル内の液を廃棄後、希釈洗浄液 300μＬで洗浄（5回） 5)複合体液②100μＬを加えて振とう、35～37℃で 30 分インキュベート 6)ウェル内の液を廃棄後、希釈洗浄液 300μＬで洗浄（5回） 7)発色基質液 100μＬを加えて振とう ↓35～37℃で 15 分インキュベート　　※目視判定：赤⇒青(陽性) 8)反応停止液 100μＬを加えて振とう 9)フォトメーター（450nm）で吸光度を測定
その他必要機器 **試薬**	フォトメーター(450nm)、遠心分離機、ホモジナイザー、100μＬ 用マイクロピペット、滅菌フィルター（孔径 0.2μM）、インキュベーター リン酸緩衝生理食塩水(PBS)、ｎ－ヘプタン（油脂を40%以上含む食品で必要）

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
ご注文 お問合せは 東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312